

普及活動情勢報告（平成28年12月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ピーマン現地検討会の開催 ～参加者が活発な意見交換～



講師の説明を聞く生産者

11月29日、JAとさし・高陵青果合同ピーマン部会の現地検討会を開催し、生産者19名が参加しました。

炭酸ガス発生機を導入したほ場3か所で現地研修を行った後、園芸植物育種研究所の源田氏より栽培のポイントやピーマンの育種状況について説明がなされました。農業改良普及課からはピーマンの光合成と炭酸ガス施用方法の案、今年の気象状況と根の張り不足、環境による樹勢操作等について説明を行い、生産者からは、育種や炭酸ガス施用に関する質問が多く出され、活発な意見交換がされました。

農業改良普及課では、今後実証ほの調査を進め、部会員への情報提供を通して環境制御技術の導入・拡大を呼び掛けていきます。

庁舎内が爽やかな良い香りに包まれました ～土佐文旦部会が果実分析を実施～



果径を測定するJA職員

JAとさし土佐文旦部会では、12月5、6日に農業振興センターで、収穫前の果実分析を実施しました。農業改良普及課とJA等、関係機関が協力して、果実重や果径、果皮厚、糖度、酸度について調査しました。

合計431果を分析した結果、9月に曇雨天が続いた影響からか、平年に比べて、果実の大きさはやや大きく、果実品質は糖度、酸度ともにやや低い傾向でした。

なお、今回の分析結果は、生産者へフィードバックするとともに、光センサー選果機の調整や「てんたん」候補地の選定、共同出荷場への持込順の調整等に活用されます。

上東地区に合った法人について検討しています ～「集落営農塾・法人研修講座」～



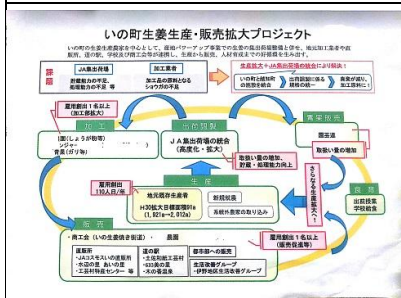
法人について話し合う組合員

農業改良普及課では平成27年度から、いの町集落営農塾(いの町共催)を実施しており、12月6日に吾北地区において「28年度第1回法人研修講座」を開催し「上東地区営農組合」から5名が参加しました。

講座では、法人化をしてどのような事業に取り組みたいか意見を出し合い、講師(農業会議)、アドバイザー(専門技術員)の指導助言を受けながら、上東地区に合った法人の形態を検討しました。受講生は講座を通じて集落営農を法人化する意義を再確認するとともに、取組の方向性が次第に形づくられてきました。

農業改良普及課では、今後とも上東地区営農組合の法人化に向けた支援を続けます。

生姜生産を核に農業クラスターを構築しよう！ ～生姜焼き街道の町、いの町を更に進める取り組み～



協議中のクラスター図（案）

いの町において、生姜焼き街道等の取組みを更に進め、生姜を核とした農業クラスターを構築しようと、農業者、食品会社、商工会、農業改良普及課も含めた行政関係者等でプロジェクトチームを結成し、今後の方向性等を協議しています。

第2回目のチーム会となった12月12日には15名の関係者が出席し、生姜生産を行う新規就農者の確保方法や地元で製造されている加工品の展開方法等を確認しました。

農業改良普及課では、今後もこのチーム会へ参画し、農業クラスター構築による地域興しに貢献したいと考えています。